

# 京都ハンナリーズ 下京区民デー!

vs 名古屋ダイヤモンド  
ドルフィンズ

日時 4月8日(水)  
19:05~  
場所 ハンナリーズ  
アリーナ  
(西京極)



### 下京区民特別割引

当日チケット窓口で、  
区内在住・通勤・通学を証  
明できるものを提示して  
ください。

一般2,500円→1,500円  
小中高生1,000円→500円



☎ 市市民スポーツ振興室(☎366-0168)

# 次期下京区基本計画の策定に向けてvol.2

~ご意見・ご提案を募集中です!~

下京区では、令和3年度からスタートする次期下京区基本計画の策定に向けて、計画の素案の作成に当たって重点となるテーマごとに議論を行うため、下京区民まちづくり会議に「部会」を設置し、「はぐくみ文化の創造・推進」、「地域共生社会の実現」、「環境にやさしいライフスタイルの推進」、「いのちとくらしを守るまちづくり」、「京都の元気を牽引するまちづくり」の5つを重点テーマとし、議論を進めています。

これまで開催した部会では、分野を超えて連携・協働できる取り組みについて検討するワークショップなどを実施。活発な意見交換が行われ、下京区をよりよいまちにするための取り組みについて、多くのご意見をいただきました。

今後、この部会やまちカフェ事業(下京アフターアワーズ)などでいただいた多くのご意見・ご提案を踏まえ、素案を策定していきます。皆様のご意見・ご提案をぜひお寄せください!

☎ 地域力推進室企画担当(☎371-7164 メールshimogyo@city.kyoto.lg.jp)



部会の様子(1月16日実施)

## 京都はぐくみ憲章実践推進者表彰

2月7日、子どもを健やかで心豊かに育む「京都はぐくみ憲章」の令和元年度実践推進者として、下京区から4団体が市長の表彰を受けられました。皆様おめでとうございます!

### 【はぐくみアクション賞】(五十音順)

- ・お寺の子ども会
- ・京都市修徳児童館
- ・くう・ねる・あそぶ実行委員会
- ・浄土真宗本願寺派西本願寺



☎ 子どもはぐくみ室子育て相談担当  
(☎371-7219)



日 時	場 所
4月2日(木)	14:00~14:45 光徳小学校
	15:30~16:00 洛央小学校
4月6日(月)	14:00~14:30 西大路小学校
	15:00~16:00 七条第三小学校
4月7日(火)	14:00~14:30 梅小路小学校(南門)
	15:00~16:00 七条小学校
4月13日(月)	14:00~14:30 下京中学校成徳学舎(元成徳中学校)
	15:00~15:45 元六条院小学校
4月19日(日)	14:00~15:00 区役所北側玄関前

**愛犬の登録と  
狂犬病予防集合注射のお知らせ**

生後91日以上の飼い犬には、登録と年1回の予防注射が義務付けられています。令和2年度の予防集合注射を表のとおり行います。なお、表の日程で予防注射を受けることができない場合は、動物病院で受けることもできます。

**費用**  
登録済みの犬(注射) 3,400円  
未登録犬(登録と注射) 7,000円

☎ 市医療衛生センター中部方面担当(☎746・7212)



はがきに、クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢のほか誌面への感想を書いて、4月10日(金)必着で、区役所地域力推進室「謎とき」下京「係までお送りください。正解は5月15日号に掲載し、正解者の中から抽選で2名の方に景品を差し上げます。当選の発表は、景品の発送をもって代えさせていただきます。

- ① 塩釜の手水鉢
- ② 源融の手水鉢
- ③ 吾唯足知の手水鉢



梅ヶ枝の手水鉢

下京区にある、国の名勝庭園の「涉成園(枳殻邸)」にも著名な手水鉢がありますが、その名は何でしょう。

さて問題です。

「梅ヶ枝の手水鉢」は、いつしか神崎から京都の島原の茶屋に流れ着いたとされています。昭和30年の堀川整備の際に七条下の周辺川底から発見され、長らく島原の茶屋に保存されていましたが、昭和62年平安建都1200年の祝賀の際に現在の地(下京区鎌屋町40)に据えられました。

「梅ヶ枝の手水鉢」に関する記述があります。

「梅ヶ枝の手水鉢」は、いつしか神崎から京都の島原の茶屋に流れ着いたとされています。昭和30年の堀川整備の際に七条下の周辺川底から発見され、長らく島原の茶屋に保存されていましたが、昭和62年平安建都1200年の祝賀の際に現在の地(下京区鎌屋町40)に据えられました。

**謎とき!**  
下京

**梅ヶ枝の手水鉢**

この問題は、京都検定1級をお持ちで区内にお住まいの河本俊子さんに課題していただいています。

源平合戦を題材にした文楽の演目「ひらかな盛衰記」に、梶原源太景季のために尼崎の神崎の遊女「梅ヶ枝」が、「無間の鐘」になぞらえた手水鉢を柄杓で叩く場面があります。「無間の鐘」とは、撞くと現世の富と引き換えに来世は無間地獄に落ちるといふ伝説の遠州七不思議の1つ。江戸期の人々には「無間の鐘」といえば遊女「梅ヶ枝」と手水鉢の情景が連想され、文楽や歌舞伎や落語、歌川広重や鈴木春信の浮世絵など、様々な表現され人気を博したようです。明治期にも假名垣魯文作と伝わる俗謡「梅ヶ枝の手水鉢」が座敷歌として流行し、明治37年発行の小泉八雲著「怪談」中の「鏡と鐘」にも「無間の鐘」と「梅ヶ枝」に関する記述があります。